

第7回理事会議事録

(財)神奈川県スキー連盟

- | | | |
|-------------|---|---|
| 1. 日 | 時 | 平成12年2月2日(水) 19時～20時30分 |
| 2. 場 | 所 | 神奈川県社会福祉会館 会議室 |
| 3. 出席理事 | | 河野 洋平、広瀬 稔、片岡 春夫、小林 幹夫、山田 隆、
片 忠夫、水島三千夫、三塚 康雄、勝又 敬夫、越前谷芳隆、
早川 博基、平沢 幸一、梶 一成、上田 英之、本田 衛義、
渡辺 三郎、山本 英雄、菊池 勇二、小山 正治、工藤 政蔵、
三井田俊彦、菊池富士夫 (現理事数22名) |
| 出席監事 | | 岩崎 義隆、生駒 利一 |
| うち委任事務局長 | | 河野 洋平、水島三千夫、越前谷芳隆、三井田俊彦(3名) |
| 4. 議長選出 | | 山田隆を選出 |
| 5. 議事録署名人選出 | | 〇〇〇〇、〇〇〇〇両理事を選出 |
| 6. 書記 | | 川上総務委員に委嘱 |
| 7. 議事 | | |

(1)報告事項

教育本部関係

ア. 行事報告

三塚教育本部長から、教育本部資料に基づき、以下の8件の行事報告と、今年度準指受験者数が276名、正指受験者数が75名であった旨報告がありました承した。

1. 指導員養成講習会(理論3)
2. 指導員研修会(理論)
3. 南関ブロック技術員研修会
4. 車山行事 指導員研修会・検定員クリニック(A)
5. 北海道行事 指導員研修会・検定員クリニック(B)、指導員養成講習会(A)
スノーボード指導員養成講習会(A)、県民スキー
6. 野辺山行事 指導員研修会・検定員クリニック(C)
7. 五竜行事 指導員研修会・検定員クリニック(D)、指導員養成講習会(B)
基礎スキー技術強化合宿(A)、パトロール養成講習会、
スノーボード指導員研修会
8. 車山行事 SAKスキー技術選手権大会、BC級公認検定員検定会(A)

競技本部関係

ア. 行事報告

勝又競技本部長から、競技本部資料に基づき、以下の6件の報告がありました承した。

1. 会議開催関係
 - 1) 第54回国体解団式
 - 2) 第5回競技本部会
2. 大会運営用備品
3. セイコーリザルトシステムに関する講習会開催
4. 事業報告
 - 1) 第2回エプソンカップスキー競技会
 - 2) ノルディック技術強化合宿兼新人講習会
 - 3) 第58回神奈川県選手権大会(ノルディック競技会)
 - 4) 南関東スノーボード選手権大会
 - 5) 南関東ノルディック競技会兼第55回国体スキー選手選考会、第22回神奈川県民体育大会
 - 6) 第1回南関東マスターズ、ジュニア選手権大会
 - 7) 第17回神奈川県スキー選手権大会(スピード系)
 - 8) 第55回国体スキー競技会神奈川県選手選考会

- 9) 第22回神奈川県民体育大会
- 5. 中止事業
 - 1) 第1回神奈川県モーグル選手権大会
 - 2) スノーボードクロス選手権神奈川大会
- 6. 第55回国体スキー参加役員及び出場選手

総務本部関係

ア. 定例報告

(ア) 慶弔関係

早川担当理事から、総務本部資料に基づき、SAK関係、SAJ関係とも慶弔報告は無い旨報告され了承した。

(イ) 資金運用報告

上田担当理事から、総務本部資料に基づき、1月31日現在の資金運用状況について報告され了承した。

イ. 当月報告

(ア) 県体協関係

早川担当理事から、総務本部資料に基づき、県体協理事長会議について報告され了承した。

(イ) 北海道行事について

早川担当理事から、総務本部資料に基づき、北海道行事の速報報告があり了承した。

ウ. ID管理進捗状況報告

梶担当理事から、総務本部資料に基づき、ID登録委員会によるID管理に向けての委員会の活動状況について報告があり了承した。

エ. 広報委員会関係

平沢担当理事から、広報委員会関係で以下の3件について報告があり了承した。

(ア) 理事会の議事録書記として広報委員の中野、川上、中里、守谷の4名に委嘱状を発行した。

(イ) 厚木の広報委員交替 森谷→秋山→三浦

(ウ) 行事報告のサポートとして車山行事 に川添、五竜 に三浦の両氏を派遣した。

オ. 加盟団体登録状況関係

梶担当理事から、総務本部資料に基づき、1月1日現在の加盟団体登録状況について報告があり了承した。

カ. 60周年記念行事決算について

本田担当理事から、総務本部資料に基づき、SAK創立60周年記念行事の決算が報告された。

これに対し、この決算書は、例えば70周年記念行事をやるとした場合の参考資料となるので、備考欄にSAKだよりの発行予算を記念誌の印刷費用として処理したことは明記しておくべきであるとの意見があり、一部修正、追記することで了承した。

また、この決算書とは別に、赤字となった理由をはじめ、反省点は明確にして残しておくように要請した。

キ. 役員改選について

片常務理事から、総務本部資料に基づき、役員改選に関するスケジュール、選出方法について説明があり了承した。

なお、これまでに受けている以下の質問への回答も併せて説明された。

質問1 選出された役員に不都合があった場合、代理は同一協会から選出するのか、ブロック内の他協会からでも良いのか。

回答 ブロック内であれば協会は問わない。

質問1 ブロック会議開催を要請するのならSAKから会議予算を計上してほしい。

回答 ブロック内で対応してほしい。

質問2 選出人数についてブロック内で調整不可の場合どうすればよいか。

回答 できる限りブロックに割り当てた人数に調整してほしいが、どうしてもできなかった場合はそのまま提出のこと。

ク．規約規定集作成について

片常務理事から、昨年注力して整理した規約規定について、運営規則と役員選出規定ができたので8割方完成している。現在までに35の諸規定ができあがり残りは各部の選考基準などをまとめれば完成する旨報告があり了承した。

(2) 審議事項

教育本部関係

ア．準指導員検定会検定員選出の件

三塚教育本部長から、教育本部資料に基づき、準指導員検定会検定員選出の提案をはかったところ、承認することです承した。

尚、1班に山口(川崎)を追加することも併せて了承した。

イ．技術選、集計ソフト作成について

三塚教育本部長から、教育本部資料に基づき、技術選得点集計ソフト作成の費用5万円を一般会計から計上する旨提案があり、メンテナンスと運用マニュアルを併せて作成することです承した。

ウ．全日本技術選出場選手について

三塚教育本部長から、教育本部資料に基づき、神奈川県スキー技術選手権大会の男子上位7名、女子上位4名を、全日本スキー技術選手権大会に派遣する旨提案があった。

ここで男子4位の伊東雄一(逗子)について、全日本の大会に出場できるのかどうか確認がとれていないことから、急遽本人に連絡を取り、業務の都合上参加できないとの回答を得たため8位の中井洋平(横浜)を繰り上げ派遣することです承した。

競技本部関係

ア．スノーボード専門委員推薦の件

勝又競技本部長から、競技本部資料に基づき、スノーボード専門委員として4名を推薦したい旨提案された。

それに対し山田専務理事から、現状のスノーボード委員会は、種目ごとの専門性の違いから全体をまとめるリーダーが不在の状態で、専門委員を増やしても活動に繋がらないのではないかと。また、今日の時点で承認しても残任期間は4ヶ月しかないため、現時点で推薦の必要はないのではないかと意見が出された。

審議の結果、推薦は承認するが、残任期間に最大限の活躍をしていただいて、五竜のハーフパイプ大会への参加選手増加につとめてもらう。

併せて、スノーボード委員会には五竜大会成功に向けて努力するよう要請した。

イ．アジアチルドレンスキー大会派遣の件

小山担当理事から、競技本部資料に基づき、アジアチルドレンスキー大会へのコーチ派遣に伴う費用をSAKから支給する旨提案された。

ただし、現状で以下の不明事項がある。

1．神奈川から4名の選手をエントリーしていたが参加資格が1985年以降に生まれた人となっていたことがわかり、3名が不的確になった。

2．派遣費用は選手は自己負担の予定であったが、SAJから選手宛にコーチを含めた人数割りの金額で負担要請が出てしまった。

従って、選手は負担が軽くなったが、コーチに自己負担が発生してしまう。

現在、1．についてレバノンの大会本部に確認中であるが、その回答によっては選手数減少によりSAK負担は不用になる可能性がある。

以上について審議の結果、レバノンからの回答次第であるが、コーチの個人負担が必要となった場合はSAKで負担することです承した。

また、補足事項として、このような大会への選手選考に関しては、事前に選考基準を明確にし、選考後にトラブルの発生しないよう十分に注意するよう要請した。

ウ．備品売却処理の件

勝又競技本部長から、競技本部資料に基づき、今期の新機種パソコン購入に伴い、従来の2台のパソコンを廃棄したい旨提案があり、異議なく了承した。

エ．クラブ対抗スキー大会の件

菊地担当理事から、岩岳で行われるクラブ対抗スキー大会について、現状の参加申込者数は140名程度で運営上は赤字が見込まれるが、今年度から開催する行事で、会場の岩岳スキー場のスケジュールを優先したため、国体開催日と同日となるなど創設初期の問題点はあったが、来年以降も継続開催を承認してほしい旨提案があり、異議なく了承した。

総務本部関係

ア．移入・転出について

榎担当理事から、総務本部資料に基づき、転出2名、移入2名、辞退1名、の報告があり異議なく了承した。

イ．団体名称変更について

榎担当理事から、総務本部資料に基づき、6団体の名称変更について説明があり、異議なく了承した。

なお、資料記載の日立汎用スキークラブと日立ESDスキークラブは新旧が逆。

ウ．級別・ジュニアテスト許可申請状況について

榎担当理事から、総務本部資料に基づき、今日現在の申請状況が報告され、異議なく了承した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成12年2月2日

議 長 山田 隆

議事録署名人 ○ ○ ○ ○ 印

議事録署名人 ○ ○ ○ ○ 印